

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			
講義概要	<p>将来、ホテル・航空・旅行業界などのホスピタリティビジネス（サービス業）に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「ギャップイヤー事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中は、担当教員が各施設を訪問し、現場担当者との意見交換を実施し、インターンシップ状況を確認する。参加者はレポートを毎週提出する。 インターンシップ終了後、インターンシップ日誌及び職場担当者の評価を提出してもらう。 同一の職場での継続、又は異なる職場でも構わないが、60時間以上の就業体験をもって評価を行う。</p>		
授業計画	インターンシップ先で就業体験をする。		
授業形態	実習		
到達目標	<p>本科目をインターンシップⅡ（定着）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【自己変革】短所・弱点・苦手部分等の改善に努めることができる。 ②【主体性】与えられた役割の意義を確認しながら、誠意をもって役割を果たすことができる。 ③【規律性・忍耐力】自分に与えられた役割のルールを理解した上で、役割を着実に全うできる。 ④【ストレスコントロール力】与えられた役割の意義を確認する中で、自分が負担・ストレスに思う根源を考えることができる。 ⑤【良い行いの習慣化】自分に与えられた役割を着実に実行することができる。</p>		
評価方法	インターンシップ期間中及び終了後の提出物で評価する。		
評価基準	インターンシップ日誌・週レポート（80%）、職場担当者の評価（20%）		
教科書・参考書	授業中に指示をする。		
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」の単位を修得し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。		
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。学習態度や髪型等がインターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。		
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可		
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。積極的に参加することを勧めます。		